

清里区防災安全マップ

—— 未曾有の災害から身を守るために ——

自分の住む地域の特性を知ろう



2011.3 東北大震災



2011.3 東北大震災

平成23年度
上越市地域活動支援事業

発行 / 清里区防災士の会

清里区防災マップ全体図



菅原・岡嶺新田防災マップ



地域特性

高台にある菅原神社境内地と平坦地域とに約20mの立木の多い急峻な崖地が存在し崖地崩壊被害が懸念される。それに関連し岡嶺台地東および西側に断層があるとされる。特に東側断層は地表で確認できる場所がある。平坦部は荒牧地内の櫛池川堤防決壊により水害が考えられる。また二つの水路があり、^{たんすい}湛水や人身落下事故が懸念される。

用水道路横断箇所においては、^{かんぼつ}陥没等の段差発生、用水蓋の落下の可能性が大で交通障害対策が必要である。

台地部分においては、消防用の水利不足が考えられる。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|------|
|  |  |  |  |  | 防火水槽 |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |  | 消火栓 |
|  |  |  |  | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 | | |
|  |  |  |  | | |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 下水溢れ | | |
|  |  | | | | |
| 冠水 | 地滑り | | | | |



あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

菅原
防災花壇
塩曾根



平成防災マップ

地域特性

造成団地であり、多くは盛り土の上に宅地が存在する。
 地下水が豊富である上、高い土留め等が存在し、住宅地盤変化等が考えられる。
 また、雨水が側溝等から溢れる事があり、交通対策も必要である。
 団地西側には断層存在も懸念されている上、軟弱地盤での沈下現象が見られ、
 道路面変化、横断樋管場所等の段差対応も考えるべきである。
 地盤沈下による用水路の滞水場所もあるのも現実である。
 農閑期を中心に消防水利の不足が懸念される。
 又西側市道は高速で走る車が見られ注意が必要である。



- | | | | |
|-------|--------|-------|------|
| | | | |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |
| | | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 |
| | | | |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 避難所 |
| | | | |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ | 防火水槽 |
| | | | |
| | | | 消火栓 |



あなたの家族の
 緊急時集合場所
 緊急連絡先電話番号

岡野町防災マップ

地域特性

台地上にあり、比較的安全な地域と思われるが、台地傾斜地であるが故に土留め石垣等があり、崩壊が懸念される。櫛池川岡川橋においては、最低でも路面変化の対策は考えるべきである。

櫛池川から取り入れられる用水があり、流木つかえ、路面変化等により^{たんすい}湛水被害が予想される住宅部分がある。市道路側において、旧村時代の道路拡張等に起因する道路面に近すぎる建物が存在し、落雪および倒壊危険が考えられる。岡川橋左岸において堤防決壊があった場合、下流域の下稲塚地内の水害被害が予想され、この場合、集排水第一処理場に被害がおよぶ事が考えられる。



荒牧防災マップ

地域特性

山間域に接続し、土砂崩壊、土石流に注意が必要である。なお高い石垣や土留めがあり崩壊に注意が必要である。

櫛池川については旧大荒橋および水道架橋等に於いて流木つかえ、せき止め等の被害が想定される。またこれに関連し用水、足洗い川取り入れ部分で決壊、溢水があった場合、県道部分に面した住宅に被害が想定される。この場合下流の域菅原・南田中方面までの水害が懸念される。大倉江用水に於いては小竹橋付近入口での決壊や下流部にせき止め等に起因する溢水が起きた場合県道沿いの住宅被害が想定される。上江用水隧道部分道路に於いては路面変化対応が必要である。

地域内の用水路における人身落下事故の対応も必要である。

あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号



岡野町

水害

大口

大荒橋

寺脇

水害

上深沢

岡嶺新田

拠点避難所
清里中学校



上深澤防災マップ

地域特性

山間域に隣接し、土砂崩壊、土石流に注意が必要である。特に土砂災害指定のある田切川では土石流せき止め等に起因する氾濫対応が必要であり、溢水時人身落下被害対応が必要である。

上江用水に架かる橋は落下、路面変化、人身落下事故等の注意が必要である。

また、上江用水下、県道間の低地は冠水被害が想定される。又この地域に於いて、農排水の溢水が起きる事への対応が必要である。



あなたの家族の
 緊急時集合場所
 緊急連絡先電話番号

上田島防災マップ

地域特性

山間域に隣接し、暴れ川雁平川流域にあると共に、上江用水が地域に沿って流れる等、せき止め、溢水、^{いっすい}人身落下、路面変化、橋落下等が想定される地域である。

また、土石流指定地域の下流にある水路もせき止め溢水等の被害が想定される、上江用水以上の注意が必要である、特に地域内の上流、雁平川架橋にせき止めが起きた場合、上記と重複した地域中央部分に甚大なる被害が想定される。



- | | | | |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |
|  |  |  |  |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 |
|  |  |  |  |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 避難所 |
|  |  |  | |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ | |
|  |  |  | |
| 土石流 | 防火水槽 | 消火栓 | |

あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

馬屋防災マップ

地域特性

地域内に、別所川・雁平川・墨川・上江用水が流れる他、小河川が多くあり、^{いっすい}溢水等の水害、橋落下・路面段差発生、人身落下等多くの被害が想定される。

特に水害被害は別所川上流右岸での堤防決壊・雁平川と墨川合流地域の溢水対策等が必要である。水害被害は馬屋新田地域を含む低地には重大な被害が想定される。

また墨川上部域に約5万トンの貯水量の谷入池がある事に留意すべきである。墨川コンクリート擁壁は損壊が懸念される。

また農排水の溢水が起きる事への対応が必要である。

あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号



- | | | |
|-------|--------|-------|
| | | |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 |
| | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ |
| | | |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 |
| | | |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ |
| | | |
| 土石流 | 石垣崩壊 | 人身落下 |
| | | |
| 避難所 | 防火水槽 | |
| | | |
| | 消火栓 | |
| | | |
| 避難所 | | |

塩曽根防災マップ



地域特性

雁平川に架かる橋等においてせき止め等の溢水が起きた時、住宅被害が想定される。架橋部分の落下、路面変化の想定および対策が必要である。

小河川の道路横断部分の路面変化、用水への人身落下防止も考える必要がある。

集排水に於いてマンホール溢れの危険がある。

あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| | | | |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |
| | | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 |
| | | | |
| 道路断差 | 消防水不足 | 水害 | 避難所 |
| | | | |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ | |
| | | | |
| 土石流 | 防火水槽 | 消火栓 | |

今曽根防災マップ

地域特性

別所川・雁平川の合流地点で堤防決壊が起きた場合、工場団地近隣に水害が想定され、一部住宅にも被害が及ぶと考えられる。県道新井柿崎線の別所川架橋に於いては最低でも路面段差発生は想定すべきである。

雁平川架橋も段差発生等の対策は考えておくべきである。地域南部を流れる、排水路も溢水、路面変化の対応が必要である。



- | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|------|------|
| | | | | | |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 | 冠水 | 避難所 |
| | | | | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 | 土石流 | 防火水槽 |
| | | | | | |
| 道路断差 | 消防水不足 | 水害 | 地滑り | 下水溢れ | |

あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

みらい

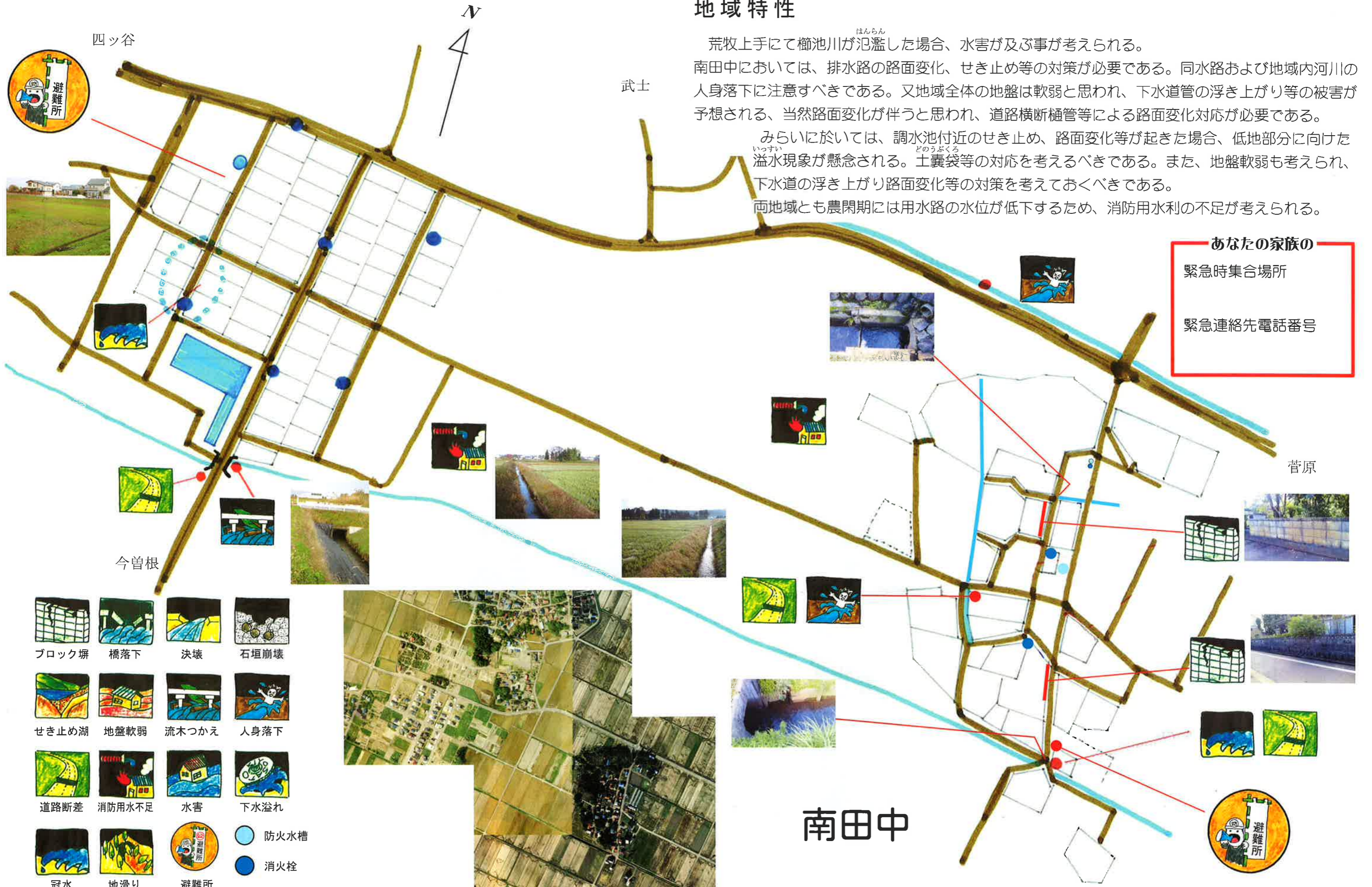
南田中・みらい防災マップ

地域特性

荒牧上手にて櫛池川が氾濫した場合、水害が及ぶ事が考えられる。
 南田中においては、排水路の路面変化、せき止め等の対策が必要である。同水路および地域内河川の人身落下に注意すべきである。又地域全体の地盤は軟弱と思われ、下水道管の浮き上がり等の被害が予想される、当然路面変化が伴うと思われ、道路横断樋管等による路面変化対応が必要である。

みらいに於いては、調水池付近のせき止め、路面変化等が起きた場合、低地部分に向けた溢水現象が懸念される。土嚢袋等の対応を考えるべきである。また、地盤軟弱も考えられ、下水道の浮き上がり路面変化等の対策を考えておくべきである。

両地域とも農閑期には用水路の水位が低下するため、消防水利の不足が考えられる。



あなたの家族の
 緊急時集合場所
 緊急連絡先電話番号

- ブロック塀
- 橋落下
- 決壊
- 石垣崩壊
- せき止め湖
- 地盤軟弱
- 流木つかえ
- 人身落下
- 道路断差
- 消防水不足
- 水害
- 下水溢れ
- 冠水
- 地滑り
- 避難所
- 消火栓
- 防火水槽

南田中

武士防災マップ



下稲塚



地域特性

地域の地盤は比較的軟弱であると思われ、地域全般での各種地面変化が考えられる。

これらにより下水道管等の浮き上がりや汚水溢れなど被害が想定される。

また地域内の用水路等の人身落下に注意すべきである。水路等の道路横断箇所は段差発生が起きる可能性が高い。荒牧地内蘆池川の水害により被害が及ぶ事も考えられる。

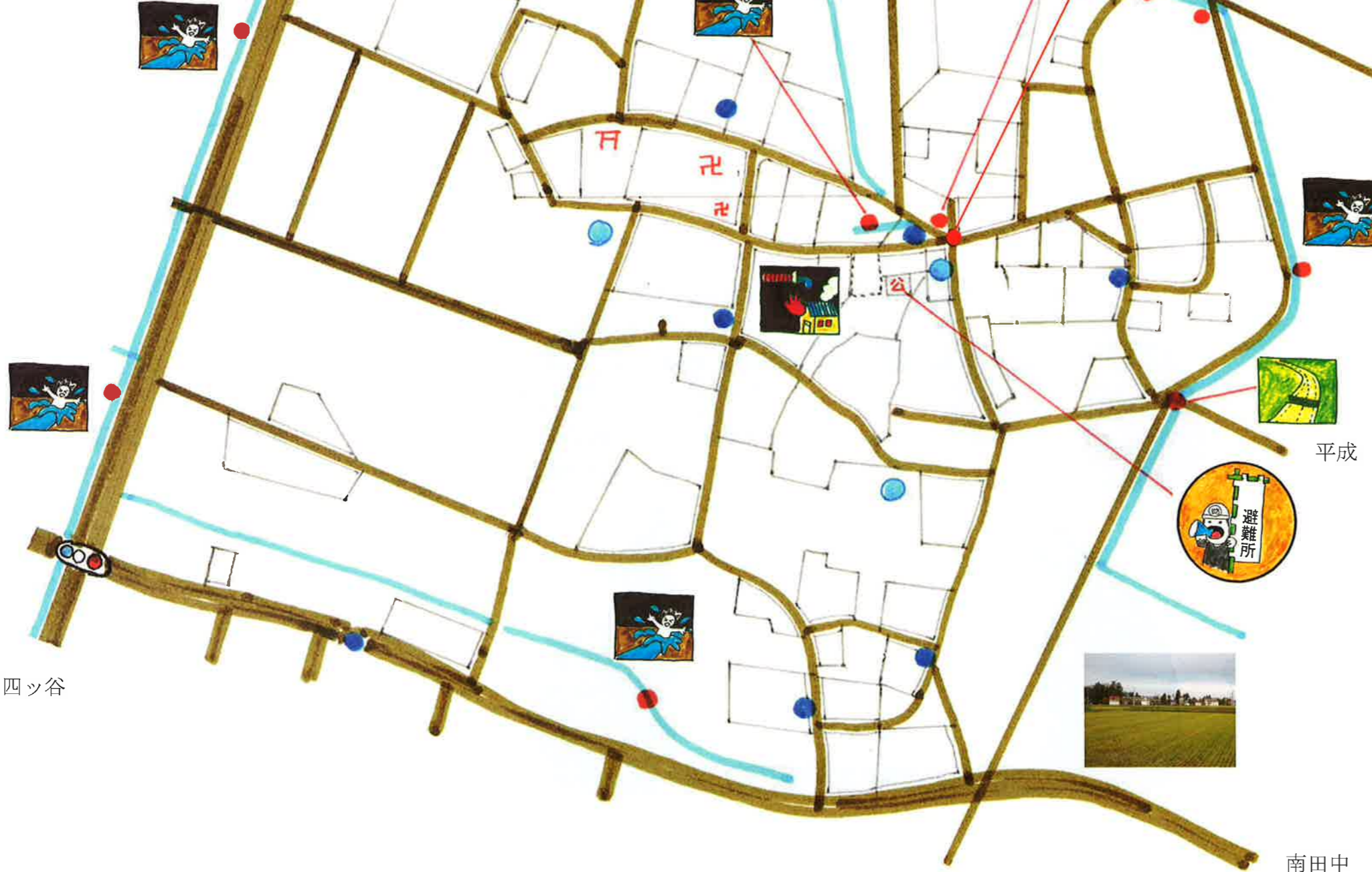
また、農閑期には、消防水利の不足も考えられる。



あなたの家族の

緊急時集合場所

緊急連絡先電話番号



- | | | | |
|---|---|---|--|
|  |  |  |  |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |
|  |  |  |  |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 |
|  |  |  |  |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 避難所 |
|  |  |  |  防火水槽 |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ |  消火栓 |
|  | | | |
| 土石流 | | | |

四ッ谷

平成

南田中



上稲塚・弥生防災マップ

地域特性

岡野町地内での櫛池川左岸堤防決壊があれば県道沿いの水害が考えられる。この場合水害と共に農排水処理場の被害も考えておくべきである。

また、弥生地内の調整池排水路等における横断樋管等の詰まりが起きれば浸水被害等も起きる。弥生地内は調整池付近に軟弱地盤が存在する、横断樋管等の所在場所の道路段差発生時の対応等は考えておく必要がある。

両地域とも用水路等の人身落下事故防止の対応は考えておくべきである。



あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

寺脇・鈴倉防災マップ



地域特性

両地域とも地滑り、土石流被害を想定すべきである。鈴倉においては二本の土石流危険河川があり住宅被害、橋落下等による人身被害が想定される。

鈴倉橋に於いてはせき止め被害が起きる事も考えられる。

小竹橋においてもせき止め・段差障害・落下等が起きた場合や又県道山手側の地滑りによる道路損壊、櫛池川せき止め被害、小竹橋損壊等での櫛池地域全体の孤立状態も想定すべきである。



あなたの家族の

緊急時集合場所

緊急連絡先電話番号

寺脇

- | | | | |
|-------|--------|-------|------|
| | | | |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |
| | | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 |
| | | | |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 避難所 |
| | | | |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ | 防火水槽 |
| | | | |
| 土石流 | | | 消火栓 |

東戸野防災マップ

地域特性

山間地域であり地滑り、土石流等の対策が必要である。
 櫛池川架橋に於いてせき止めが起きた場合、水害が想定される住宅が存在する。
 地域内に用水路があり、せき止め湛水・横断樋管場所での路面段差対応が必要である。また水路に人身落下の危険性を含む地域との認識が必要である。
 住宅敷地に隣接する石積み土留め等の崩壊危険も存在する。



あなたの家族の
緊急時集合場所

緊急連絡先電話番号

- | | | | | | | | |
|-------|------|-------|------|------|--------|------|-----|
| | | | | | | | |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 | 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 土石流 |
| | | | | | | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 | 冠水 | 地滑り | 下水溢れ | 避難所 |
| | | | | | | | |
| 防火水槽 | 消火栓 | | | | | | |

棚田防災マップ

地域特性

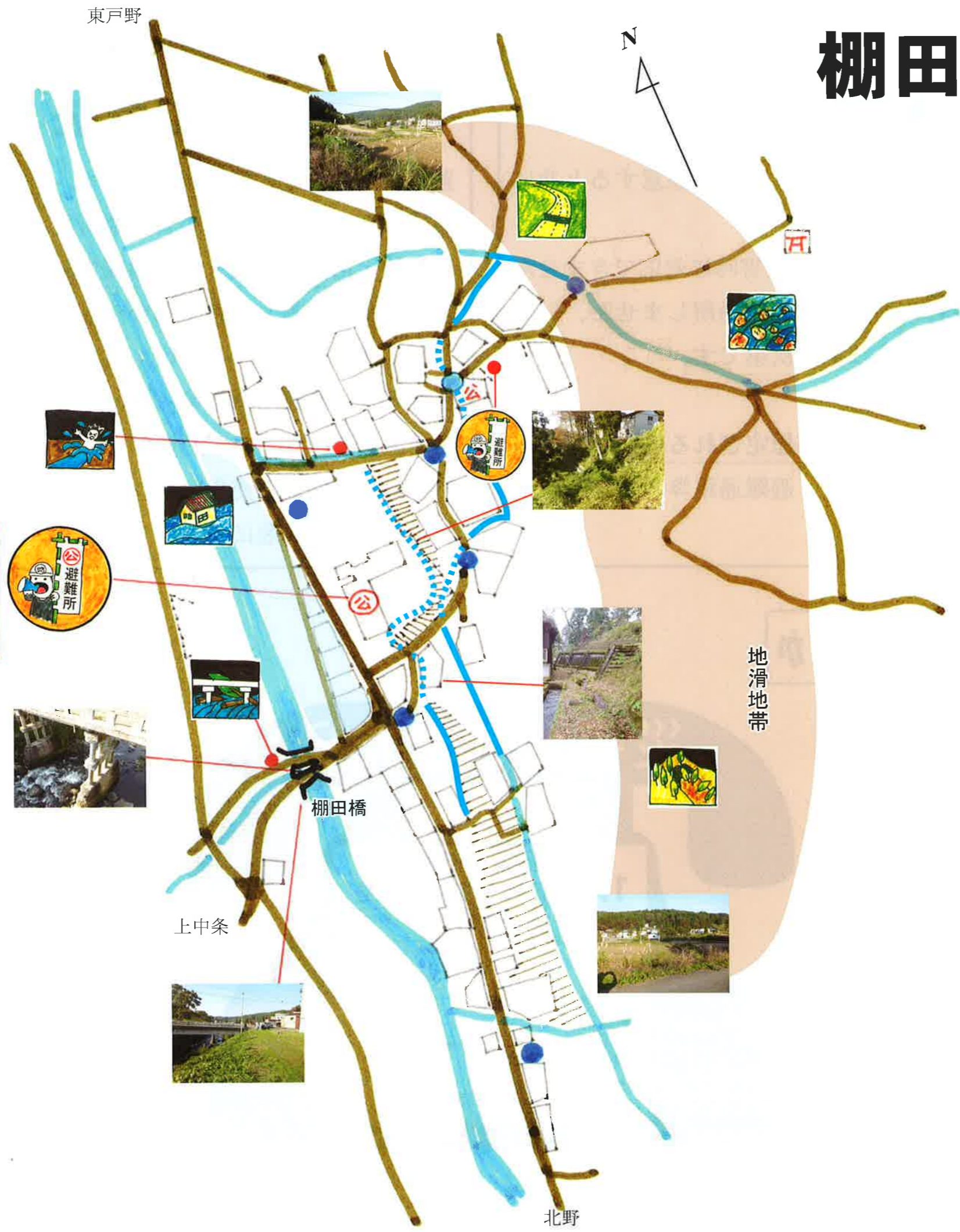
櫛池川旧架橋に流木せき止め等の水害被害発生が考えられる。

他地域と共に地滑り常習地域と考え被害等の対応が必要である。

宅地背後の急斜面や崖地崩壊による宅地損壊が想定される。

中小用水路が何本もあり、^{いっすい}溢水、人身災害等の対応が必要である。

- | | | | |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |
|  |  |  |  |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 |
|  |  |  |  |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 避難所 |
|  |  |  |  |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ | 防火水槽 |
|  | | |  |
| 土石流 | | | 消火栓 |



あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

拠点避難所
櫛池地域生涯
学習センター



鶯沢・上中条防災マップ

地域特性

山間地域地滑り被害等が懸念される。中河川等の溢水、路面変化対応が必要である。

鶯沢では河川横断樋管の詰まり等での溢水・路面段差対応が必要であり、道路損壊等で孤立も有り得る。高地にある溜池破損にも注意が必要。

上中条では、中震度でも路面変化が現れる地域であり、道路面変化と共に崖地等の崩壊注意が必要である。又蘆池川橋梁等の段差発生・落下等も考えられる、この場合地域孤立も起こり得る。地域内を流れる河川に於いて、住宅地損壊等の上、人身落下等にも十分な注意が必要である。

上中条

鶯沢



- | | | | |
|-------|--------|-------|------|
| | | | |
| ブロック塀 | 橋落下 | 決壊 | 石垣崩壊 |
| | | | |
| せき止め湖 | 地盤軟弱 | 流木つかえ | 人身落下 |
| | | | |
| 道路断差 | 消防用水不足 | 水害 | 避難所 |
| | | | |
| 冠水 | 地滑り | 下水溢れ | |
| | | | |
| 土石流 | 防火水槽 | 消火栓 | |

● 地区全体地滑り地帯

あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

梨窪・北野・水草防災マップ

あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

北野

地区全体地滑り地帯

水草

棚田

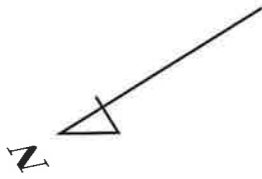
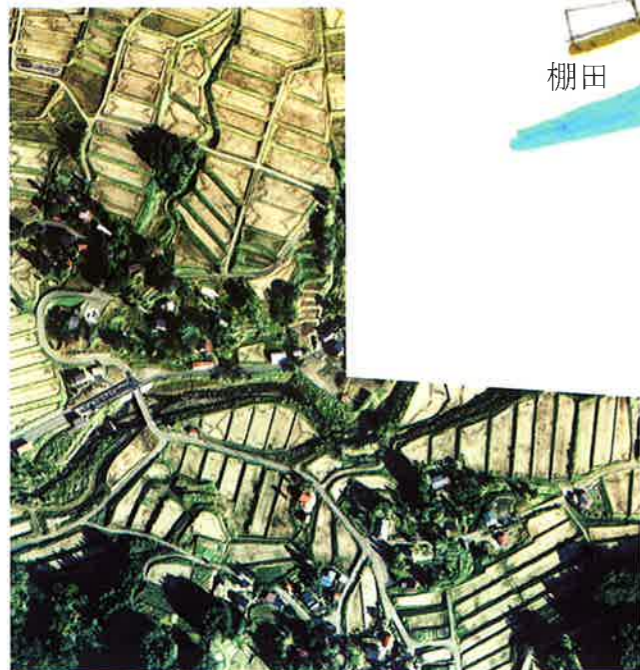
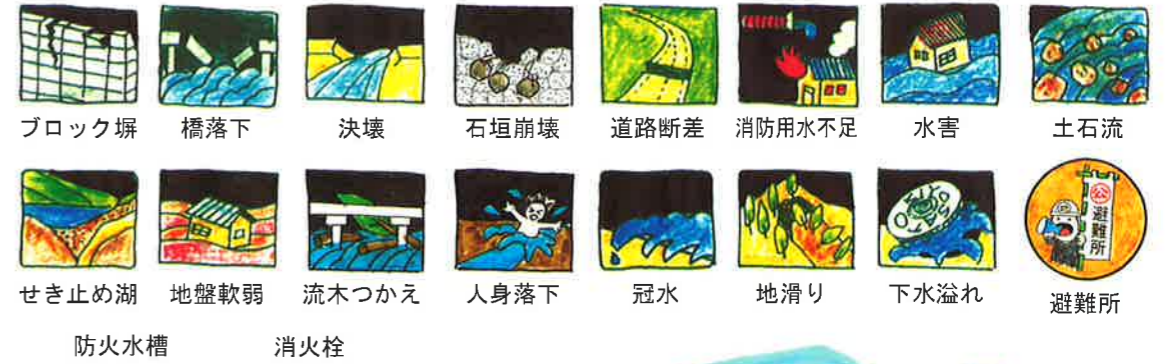
梨平

地区全体地滑り地帯

梨窪

地域特性

山間地域であり地滑り、土石流^{河原}被害が必要である。
崖地を背負う宅地等も多く土砂災害による宅地崩壊に注意したい。
道路寸断等により孤立が起こり得る事も考えられる。
中小河川等での人身落下、地盤変化による路面段差発生対応が必要である。



梨平防災マップ

地域特性

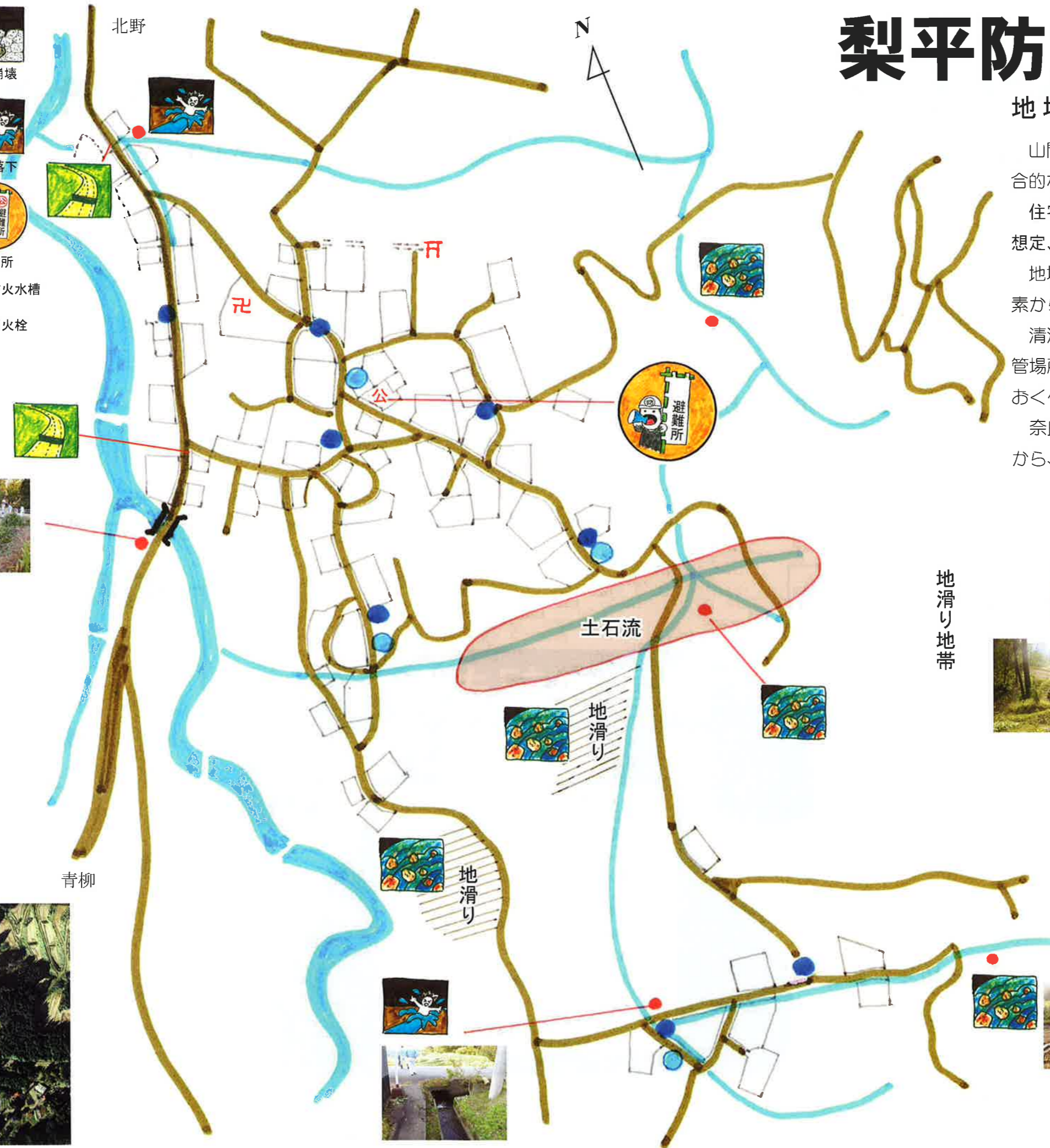
山間地域で地滑り常習地帯であり、総合的な地滑り土石流対策が必要である。

住宅地も崖地に隣接する所が多く被害想定、避難対策が必要である。

地域内小河川は人身落下防止対策が平素から必要である。

清滝川架橋等の路面変化対策と横断樋管場所の路面変化対策を平素から考えておくべきである。

奈良尾においては、地滑り道路崩壊等から、孤立対策も想定すべきである。



地滑り地帯



あなたの家族の
 緊急時集合場所
 緊急連絡先電話番号





坊ヶ池

梨平

青柳・赤池防災マップ

地域特性

山間域であり道路寸断等による孤立対策が重要である。
特に大地震による道路寸断・孤立対策・大雨等による土石流対策が重要である。

青柳では土石流指定地域が存在し、あらゆる被害想定が必要であると共に各河川とも人身落下事故を想定し対応すべきである。

また上部には貯水量200万tの坊ヶ池が存在する、堤の決壊が起きれば地域全体に被害が及ぶ事も考えられる。

赤池では地域が急峻な崖地上に存在し、地盤全体の変化、地滑り等の被害が想定される。橋落下・道路損壊により孤立想定が必要である。

山間域であり道路寸断等による孤立対策が重要である。



あなたの家族の
緊急時集合場所
緊急連絡先電話番号

- ブロック塀
- 橋落下
- 決壊
- 石垣崩壊
- 道路断差
- 消防用水不足
- 水害
- 土石流
- せき止め湖
- 地盤軟弱
- 流木つかえ
- 人身落下
- 冠水
- 地滑り
- 下水溢れ

- 避難所
- 防火水槽
- 消火栓

災害から生き延びるために

災害発生に対し各自で被害を受けない様、平素から注意すると共に緊急時の生活物資等を確保しておいて下さい。

避難訓練を行なっているから安心、これでは災害時に対応できません訓練はあくまで基本です、災害時基本通りでは通用しません、いかに応用できるかが大切です。応用力は貴方次第です。

災害発生時で自宅損傷がある場合、被害が想定される場合は各町内で決められた避難場所に避難して下さい。避難通路等の安全には平素から注意して下さい。

清里区の公設避難所

運営は行政住民の協働が大切です。

災害当初、開設される公営避難所は、清里スポーツセンター・清里小学校・清里中学校・櫛池地域生涯学習センターの4ヶ所です。公営避難所に避難して行く場合が多いと考えられます。順序良く避難でき、運営できるかを日頃から考えておく事が大切です。万一の場合を考え、避難所運営等に付いて考えておいて下さい。皆の力で避難所運営を行うことが必要です、一人一役で。

特に避難所内部の使用区割りは事前に周知しておく事が大切です。使用区割りを早急に考えましょう。

災害緊急時の連絡対策は十分ですか

・防災カードを作りましょう

(例)

防災カード	氏名
性別 男 女 血液型 Rh 生年月日	
持病 健康保険番号	
住所 上越市清里区	
家族の連絡場所	
居住地以外の親戚等の連絡場所	

- ・家族の緊急時集合場所等を決めましょう
- ・緊急連絡先電話番号を確認しましょう

災害が起きたら

災害伝言ダイヤル 171を使って安否確認を

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って操作。

●伝言を入れるとき
171 → 1 → (000) 00-0000
伝言を入れる人の自宅電話番号 (市外局番から)
→ 伝言を入れる (30秒以内)

●伝言を聞くとき
171 → 2 → (000) 00-0000
連絡を取りたい相手の自宅電話番号 (市外局番から)
→ 伝言を聞く

伝言の保存は2日間
※使用できない電話もあります。

詳しくはNTTハローページ等で確認を

被災時の生活について

平常時と違います。我慢と忍耐が必要です。

食事は我慢できますが、排泄は我慢できません。**メシよりウンコ**の対策が必要です。

水道が出ない場合、下水道も傷んでいる、の考えが大切です。行政等の指示が有るまでトイレ・風呂・台所等の排水は控えて下さい。

平成23年度上越市地域活動支援事業
発行／清里区防災士の会

清里区防災士の会 会員名簿

平成24年1月1日現在

宮澤 一也	岡嶺新田	梨本 勝文	南田 中
矢野 祐二	平 成	宮崎 彰	みらい
本多 滋夫	岡野町	市村 英明	武士
酒井 義一	荒 牧	田村 利保	上稲塚
勝山 一成	上深沢	小林 正	東戸野
古沢 文夫	上田島	笹川 澄雄	棚 田
井田 芳男	馬 屋	笹川 重作	上中条
関根 治	塩曾根	綿貫 正栄	梨 平
池田 一政	今曾根	小川 誠	青 柳

(順不同)

—清里区防災安全マップ—

発行日／平成24年1月1日

発行者／清里区防災士の会

連絡先／清里区岡嶺新田160-1

印刷／(有)山田商会
妙高市田町1-6-3